

【基本理念】

私たち職員は、県営医療の根幹である「県民に平等な医療の恩恵を」の精神を受け継ぎ、患者さんに「誠実と医学で支える良質な医療」を提供し、地域の人々に愛される病院づくりを進めます。

院長のおはなしたまて箱

院長 川村 秀司



平成29年度が始まったかと思えば、今年もすでに半分以上が経過しました。毎年時間の過ぎる早さが加速しているように感じています。相変わらず世の中は加計学園、森友学園や豊洲、村度の言葉を引用しながらの進まぬ政治ニュースが続いています。“徳”の無さの現れてしょうか、情けなく残念に思います。暗い話題ではありません。将棋や卓球では14歳を筆頭に若者の活躍に目を見張るものがあり将来が楽しみです。我々も若者に負けてはいられませんね。6月の当院の卓球大会は交流を深めながら楽しい時間になったのではないかと思います。今月の球技大会にも可能な限り参加し、体を動かす心地良さを感じましょう。さて季節は着実に進み、例年より10日程遅い梅雨入りとなりました。気温の差の激しさに体調を崩している方はいないでしょうか？ 4月からの新しいメンバーの方達はペースをつかめてきたでしょうか？ 今年の夏は猛暑と予想されていますので、それぞれ体調管理に努めていただきたいと思います。外来に設置されたアクアリウムを覗きながら気持ちを癒やしていただければ幸いです。

先日、平成30年度の電子カルテ導入に向けて千厩病院へ見学に行ってきました。紙カルテでは解読困難な字での記載や、使いたいときにカルテがない、バラバラになる、用紙の補充が必要等、不便をおかけしておりますが、当院にも導入されればメリットが沢山あることを見学で実感して来ました。すでに電子カルテを経験した方、当院で紙カルテを初めて、もしくは懐かしくめくったスタッフもいるかと思います。紙カルテの字を見て記載した人を思い浮かべたりするのも趣があったり、厚さで関わりの深さを感じたりする気持ちもありますが、今後電子カルテ導入に向けてスムーズに移行できるよう、経験のある方はどんどん情報を発信し各部署の取り組みを支えてくださるよう期待しております。機能評価の次は電子カルテと、息つく暇もありませんが一步一步前進していきましょう。



今年度は少ない医師数の中各方面からの更なる応援をいただき、どうか診療体制を維持しています。医師を初め、職員の増員はどこも難しい状況で、スタッフの皆さんの尽力・協力・連携を持ちながら当院は運営できています。そのような中、今月5日・6日の両日、病院機能評価更新受審があります。各部署で忙しい中、準備や見直しなど積み重ねてきた取り組みを評価してもらう絶好の機会です。構えることなく平常心で臨みましょう。宜しくお願いします。

ある雑誌に載っていた3つの“覚悟”を提示します。自分を見つめ直す機会にしてくださいれば幸いです。

1つ目は、“認める覚悟”。現状を冷静に見つめて足りないところや不十分なところに真摯に向き合い、客観的な事実を認めることです。プライドや過去の習慣が邪魔して難しいものではあるが、「素直な気持ち」を持つことで可能となる。

2つ目は、“変わる覚悟”。このままじゃいけないと認めただ後、変化を恐れないこと。組織は習慣性の法則に従うもので、変わりたくない人が多い。トップが変わるように皆に号令をかけて、皆がそれについていき組織が変わっていく。

3つ目は、“続ける覚悟”。一時的にかわることはできるかもしれないが、それを続けていくことは最も難しい。PDCAサイクルも1回転はできるけど、10回転は難しいと同じ。マネジメントとは現場の課題を見つけ、自分たちが変わり、その取り組みをずっと続けていくこと。

さて、各々に必要な“覚悟”はみつかったでしょうか。ちなみに私は3つ全部を心掛けたと思っています。働けることに幸せを感じながら・・・ではまた次号で。



新任のご挨拶

外科医師 瀬川 武紀

この度、江刺病院の外科に新しく赴任いたしました瀬川と申します。微力ながら江刺区の皆様の健康に貢献できるよう日々業務に邁進しております。

江刺病院では患者様の多くがご高齢の方であり、様々な健康上のお悩みを抱えていらっしゃいます。そのため、各スタッフが専門科にとらわれず幅広く診療を行っております。

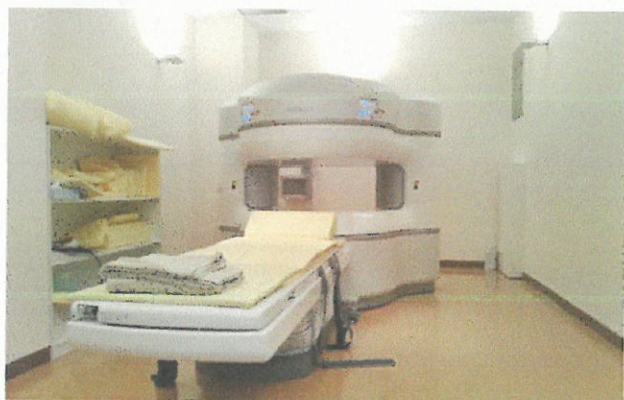
様々な疾患の中でも腰痛症を患われている患者様の数は多く、当科では腰椎圧迫骨折などで、ご自分で動くことが困難となった患者様と接する機会が多くあります。そのため、リハビリ目的の入院なども適宜承っております。また、食事摂取が困難となった患者様に対しての、摂食機能回復へ向けての取り組みも行っております。

腰痛や食事摂取などのトラブルでお困りの際には、是非一度ご相談いただければ幸いです。

拙い文章ではございますが、上記をもちまして新任のご挨拶とさせていただきます。よろしくお願い致します。

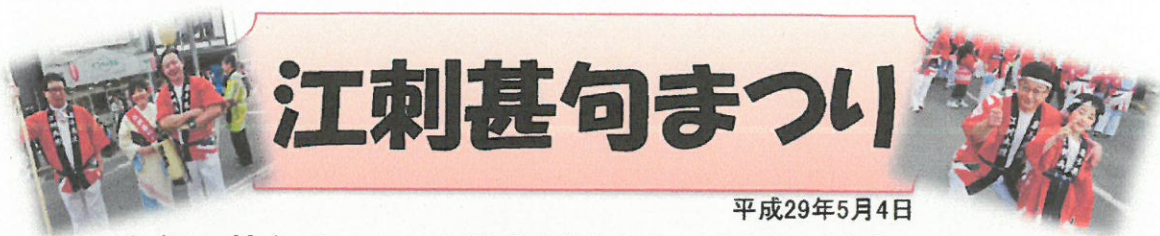
≈ MRI 新機種(日立)が本格稼働を始めました ≈

新しいMRI装置を搬入している写真です。クレーン車によって吊り上げているものが、本体の中に収まっている永久磁石です。人に例えれば、心臓にあたる場所です。この大きな磁石が本体の中に収まっていて、これを見ることはめったにない貴重な写真です。搬入当日は小雨模様でしたが、作業は慎重に進められ何事もなく無事に終了となりました。とても重たいもので、この磁石を乗せて室に納めるために2tに耐えられるローラー付きの小さな台車を四つ使用しています。



左の写真が新しいMRI装置本体の概観です。OPENタイプの機種で、県立病院としては初めてです。特徴としては従来のMRI装置のように筒状ではなく、開放的な形になっていることです。閉所恐怖症ぎみの方も、撮影可能かもしれません。検査のとき、静かなことも特徴です。検査室の内装も落ち着いた感じに仕上がりました。検査のとき音楽を流せます。希望の曲がありましたらCDをお持ちください。

この新しいMRI装置を使用し、今まで以上に良質な画像情報の提供を目指して、日々技術の向上を行っております。江刺の地域に根ざしたやさしく・安全にをモットーに検査を行います。今後もよろしくお願い致します。



今年の甚句まつりには過去最多となる70名で参加しました。

天気は晴れ✧ 心地よい風が吹く中、大パレードで踊ってきました。

江刺病院に配属になって早くも2か月が経ちました。今回、江刺病院の地域活動として江刺甚句まつりに参加させていただきました。私自身、江刺甚句まつりに足を運んだことがなく、どのような踊りであるのか知らなかった為、短期間で踊りを覚えられるのかとても不安でした。当日、会場へ向かうと沿道にはたくさんの観客がおり緊張が一気に高まりました。何度も踊りを間違えてしまいましたが、楽しんで踊らせていただきました。街中が一つになれる伝統のある素敵なお祭りだと思いました。このようなお祭りに江刺病院として参加し、地域の方々と交流できたことでより一層仕事を通して地域に貢献していきたい気持ちが大きくなりました。今後も仕事に精進していきたいと思ひます。
5F 佐藤一恵

4月から江刺病院に採用となり、江刺病院の一員として働くようになりました。慣れない地での初めての祭りということで練習の段階から不安を感じていました。そのような気持ちを抱きながらまつり本番を迎えました。赤い法被に身を包むと程よい緊張感、そして高揚感を感じました。初めこそ見物人の多さに圧倒され恥ずかしさを感じていましたが、進むにつれて大勢で踊ることの一体感を感じ、のびのびと気持ちよく踊ることができました。祭りが終わり、病院に戻る頃には心地の良い疲労感に包まれていました。このような祭りへの参加は初めてでしたが、楽しんで踊ることができ、とてもよい思い出となりました。江刺甚句まつりに参加することで改めて江刺病院の一員であるということを実感することができました。また江刺区民としてこのような地域のイベントには積極的に参加していきたいと思ひました。
3F 小野泰幸



参加者全員で記念撮影



さあ パレードの始まりだー！



頑張るぞー！！



準備はいいかい？

H29年度 ふれあい看護体験 平成29年5月

今年度のふれあい看護体験は5名の高校生と1名の一般参加がありました。



患者さんの足を洗って
「ありがとう」
と言われ、嬉しかった。

グリッター バグを使って手洗い後菌が
残っているところを観察しました。
手洗いの大切さを学んでいただけたと
思います。



・看護の素晴らしさ看護への
興味、なりたいという気
持ちは高まった。これから
進路を決めて立派な看護
師になりたい！
・人と明るく関われる人にな
りたい等の感想が聞か
れました(感動・・・♡)

終了後、総看護師長さんから修了書を頂き、素敵な笑顔がみられました。
先輩からは、やりがいのある看護と一緒にしていきたい。皆さんと働けることを楽しみにしています！！との声が聞かれました。

